

Rotary



国際ロータリー第2840地区  
高崎北ロータリークラブ  
DISTRICT 2840 ROTARY CLUB OF TAKASAKI NORTH

北の友愛

題字 秋葉猛 君

クラブ会報特別号  
チリワック・フレイザーロータリークラブ来高報告

2019-2020年度

会 長 川本 裕明

幹 事 小森谷 剛

例 会 毎週水曜日 12時30分

例 会 場 ホテルグランビュー高崎

事務局 〒370-0815 高崎市柳川町70 ホテルグランビュー高崎

TEL027-330-6060 FAX027-330-6061

E-mail takakita@k1.wind.ne.jp URL http://takakita-rc.org

編集・クラブ会報委員長 小出 省司

事務局員 横尾 真実

クラブテーマ「職業奉仕はロータリーの原点」

2019-2020年度 R I テーマ



チリワック・フレイザーロータリークラブ来高報告

幹事 小森谷 剛

2月4日から8日までの5日間、高崎北ロータリークラブと姉妹クラブのチリワック・フレイザーロータリークラブのメンバーとその親族合計9名が高崎に滞在した。

1月15日に高崎訪問の日程が決定してからの約半月という短い準備期間だったが川本会長、国際交流プロジェクトの高山リーダーを中心に「何しろ出来るだけのオ・モ・テ・ナ・シをしたい！」と有志が集まりワイワイガヤガヤと食事をしながら楽しく意見を出し合った。

我々の「オ・モ・テ・ナ・シ」は市長への表敬訪問に始まり、しゃぶしゃぶ、ラーメン、カラオケ、焼き肉、いちご狩り、博物館、高崎に新しく完成した高崎芸術劇場でのピアノ・コンサート、少林山での坐禅、観音山での写経etc…。我々の友情をギッシリと詰め込んだプランとなった。

とりわけ印象的だったのが、滞在2日目の夜に夜間例会にご招待した時だった。この例会においても高崎北ロータリー流の「オ・モ・テ・ナ・シ」が炸裂し、かなり盛りだくさんの内容となった。

その中で姉妹提携を更新する調印式を改めて行うこととなり、来賓としてお越し頂いた森田ガバナーに立

会人をご依頼申し上げた。急なご依頼にも関わらず調印式の最後にガバナーより「両クラブの姉妹提携の更新が行われたことをここに宣言する！」との声が高らかに響き渡り、華やいだ雰囲気の中にあってもそれぞれが遠来の友人への思いを新たにする感動を味わうことが出来たようだった。

今思うと、「もっとああしてあげれば良かった！」とか「あそこはあれを食べさせたかった！」「スケールのでかいプロジェクトの夢を語り合いたかった！」など新たな思いが去来するがまた次回の楽しみとしたい。





チリワックはカナダ西部に位置しバンクーバーの近隣都市で面積13,346<sup>キ</sup>㎡（群馬県の約2倍の面積、人口237,550人（太田市より2万人強）の地域です。因みに人口密度は17.8人/<sup>キ</sup>㎡とのこと。（群馬県は306人/<sup>キ</sup>㎡）

○点鐘（川本 裕明会長）

点鐘の後、カナダ・日本両国国家斉唱し開会となりました。



○挨拶（要旨）

①高崎北RC 川本 裕明会長

・本日チリワック・フレージャーRCの皆さん9名を迎えて夜間例会が開催されること嬉しく思います。

・両ロータリークラブの友好は1980年代の交換留学生から始まりました。2015年2月に高山パスト会長以下7名の会員がチリワック訪問し交流を再開し、2017年12月にも訪問しました。

・2011年に発生した東日本大震災の際はチリワックの皆様から多額の義援金をいただき、その趣旨を生かすために奨学金の基金にしております。

・ここ高崎は交通の要所、群馬交響楽団に代表される音楽の街、多数の政治家も輩出している。

・チリワックの皆さんそんな高崎を感じて下さい。今年の国際ロータリーのテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」ですが、そんな時に皆さんが来訪されたことは象徴的な出来事です。

・私たちはチリワック・フレージャーと高崎北の両ロータリーの友情がもっと広がり長続きすることを願っています。結びに皆さんのご健康、チリワックロータリーの発展、今回の旅の安全を祈念しています。

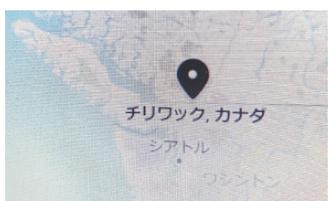
②チリワック・フレージャーRC Mike MacLatchy会長

・みなさん、こんにちは！我々を歓迎いただき有難うございます。美しい国に来られたことを光栄に思います。（通訳なしで日本語で熱心に語られたことが印象的でした。）



ようこそチリワック・フレージャー ロータリークラブ  
夜間例会報告 第1週2月5日（水）

今回は海外友好ロータリークラブであるカナダ・ブリティッシュコロンビア州チリワックのチリワック・フレージャーRCから9名の皆さんが高崎北ロータリーを訪問していただいた歓迎の夜間例会です。



③国際ロータリー第2840地区 森田 高史ガバナー  
 ・本日はチリワック・フレイザー・ロータリークラブ  
 歓迎の夜間例会にお招きいただき有難うございます。  
 ・当2840地区は2,100名を超える会員を要し、クラブ  
 数は45で、この高崎北ロータリーは地区活動に常日頃  
 大変ご協力をいただいています。当地区からはこの高  
 崎北所属の重田様がR I 理事にただ一人就任した経緯  
 があります。  
 ・高崎北ロータリークラブとチリワック・フレイ  
 ザー・ロータリークラブの友好の輪が益々広がること  
 を祈念してガバナーとしての挨拶とします。



○友好クラブ更新式

・両クラブが今後とも友  
 好を広げていけるよう森  
 田ガバナーが繋ぎ役で両  
 クラブの会長が覚書に署  
 名した。その内容は、両  
 クラブは友好関係に同意  
 し、次の条項を定めるこ  
 ととする。①親睦と相互  
 理解を促進し、社会奉仕  
 に寄与する。②定期的に  
 クラブの姉妹関係を維持し  
 ていく。③具体的活動要綱  
 (1 会員相互の訪問の機会  
 を作る。2 お互い商用、観  
 光その他業務上の連絡に便  
 宜を図る。)  
 ・森田ガバナーが締結の確  
 認をした。参加者の大きな  
 拍手で了承される。



○ニコニコボックス報告

(森田ガバナー、川本会長)

以上で例会は川本会長の点鐘で終了した。

○第二部 チリワック・フレイザーRC 歓迎懇親会

(高山 秀男・国際プロジェクトリーダーの総合調整  
 の下、平田 稔会長エレクト司会)

・以降、平田会長エレクトの進行で次のような盛りだ  
 くさんの演芸、儀式等が執り行われ参加者の皆さんも  
 飲み物、料理等を楽しみながら時間が過ぎるのを忘れ  
 るくらいの交流の場になった。



①神楽上演 (担当・稲川 庫太郎君)

・妙義神社の皆さんに神楽舞を披露していただきまし  
 た。  
 ・高山リーダーから英語で神楽の成り立ちや演技の説  
 明等があった。



②お土産の贈呈 (川本 裕明会長)

・高崎北ロータリーからチリワックの皆様へ筆ペンと  
 ぐんまちゃんタオルを、チリワックの皆様からは民  
 族楽器のギターとチリワックのロータリーバッジ等が  
 お互いに贈呈された。また、森田ガバナーにもチリワ  
 ック会長からカナダの特別のウィスキーが贈呈され、笑  
 顔で美味しくいただく旨、挨拶があった。



③乾杯（竹中 隆パスト会長）

・2017年12月のチリワック訪問時の会長でその時のお礼と今回の来訪の歓迎を申して乾杯した。



④謡曲披露（堤謙治副会長、萩原 正弘君、高野 由博君）

・元当クラブ会員、能楽師の下平 克宏君から薫陶を受けた3名が和服姿でのどを鳴らした。



⑤だるまの目入れ式（担当・大井田 健一君）

・ご承知のようにだるまの生産が全国の80%を占めている高崎のだるま、会員の廣瀬 正史君も達磨寺住職としてご活躍ですが、正に幸運の証としてのだるまの目入れ式です。

・前回チリワック訪問時もこのような儀式が行われました。



⑥津軽三味線等（担当・島津 文弘パスト会長）

演者、松本梅頌さんは三味線（尺八）と歩み始めて46年。音楽のジャンルを軽々と飛び越える、その才能はロックやジャズミュージックとのコラボレーションなどでも絶賛を浴びている。世界各国イベントゲスト出演、式典でのゲスト演奏多数、学校・障がい者施設・海外在住日本人老人ホーム慰問演奏多数。



⑦歌謡ショー

・演芸最後に森田ガバナー所属の伊勢崎ロータリー会員でもある北原 朱夏さん（伊勢崎ロータリー 登録・高橋しげみさん）が持ち歌「波に抱かれて」を熱唱した。



○締め

（元チリワック訪問団長 井田 三義パスト会長）

